

マザアスニユース



MOTHERTH
SOCIAL WELFARE
JURIDICAL PERSON

ひだまり

HIDAMARI

MOTHERTH
NURSINGHOME
FOR THE AGED

No.50
2008.11.15号

百葉繚乱

ひだまり今月号の見どころ

- 秋光祭「東久留米」
- 夕涼み・夏祭り「東久留米」
- 介護予防教室「日野」
- 小規模多機能ホームオープン「日野」

百葉繚乱(ひゃっぱりょうらん)
東久留米特養 1Fご利用者による共同作品

○ 13回目を迎えた秋光祭 平成20年10月17(金)・18(土)・19(日)

今年で秋光祭も第13回目を迎えました。昨年からアカデミックな内容を盛り込み、今年は認知症についての専門的な講演を東久留米市東部地域包括支援センターの佐田保健師、石橋クリニックの石橋院長にして頂きました。

2講演とも部屋に入りきれないほどの盛況ぶりで、皆さんの関心の高さに驚かされました。恒例の作品展示会も賑わいを見せ、地域の方々と始め他施設からも多くのご来場をいただきました。詩吟、喫茶、茶道も例年どおりの活気に満ちたものになりました。今年は職員の家庭菜園で採れたキウイや柿、職員の実家である地元農家の小松菜、かぶ等の販売もあり即日完売の売れ行きでした。すっかり定番になった健康チェックには連日多くの方が来場されました。これからも地域に役立つ施設として秋光祭をより充実したものにしてゆきたいと思っています。



佐田保健師の認知症サポーター養成講座



多くの方々の関心を寄せた石橋先生の講演



講演中の佐田保健師



講演中の石橋先生



福祉機器展の様子



恒例の健康チェック

マザアス東久留米 第13回 秋光祭		
地域で健康に暮らし続けるために 生き生きとした老後！ 介護の相談はマザアスへ		
10/17(金) 手作り作品販売会 作品展示会 ゆりの会喫茶 フリードリンクス	10/18(土) 手作り作品販売会 作品展示会 健康チェック 詩吟発表会 茶 道 記念写真撮影会 オープンバス グループホームおがわ・たきやま パワーリハビリ説明会 福祉用品・福祉機器展示 AED 操作講習会 フリードリンクス	10/19(日) パワーリハビリ説明会 認知症サポーター養成講座 講演会「認知症って何？」 グループホームひかわだい 福祉用品・福祉機器展示 健康チェック 焼きだてのパン販売 フリードリンクス

2008 MOTHERTH

お問い合わせ：秋光祭実行委員会 マザアス東久留米 東久留米市米沢町2-7-7 TEL: 042-477-7261 FAX: 042-477-7500
10/19(日)の講演会に際しましては介護の必要となる方の招待も可能です(予約が必要ですので予めお問い合わせ下さい)



100円軽食コーナー



焼きだてのパン販売



手作り作品販売会



作品展示会場にて



職員と学生ボランティア



即席小規模バザー



年々完成度が高まるご利用者の作品

○ 特養1F 夕涼み会

マザアス東久留米特養1階では、8月23日土曜日18時より夕涼み会が行なわれました。

今年はバディーズ（職員有志による居酒屋）と合同です。

ご利用者・ご家族・職員など多くの方が参加して下さい、用意したお寿司やチキン、かき氷があつというまにくなりました。

職員もあでやかな浴衣に着替えお祭り気分を盛り上げました。

19時から花火大会です。外はあいにく雨でしたが、エントランスの屋根の下で手持ち花火を行ないました。

「わあきれいな」「花火なんて久しぶり」といった声があがり、楽しい、にぎやかなひと時となりました。



○ 特養2F 夏祭り

マザアス東久留米特養2階では、8月29日金曜日14時より夏祭りが行われました。今年もつくしの会の皆さまが盆踊りを披露して下さいました。踊りの輪に参加し、一緒に踊られる方、周りで踊りを見て楽しめる方など、笑顔がたくさんある夏祭りになりました。つくしの会の舞が見られるのも今年が最後ということで例年以上にとっても盛り上がりしました。

さらに今年は特養職員4名がソーラン節を踊りました。若い男女のパワフルながら滑稽な舞に皆さんとても喜ばれた様子でした。

最後の締めはやっぱり、スイカ割りです。ご利用者の方々にチャレンジして頂くも、まんまと大きなスイカはなかなか割れず、止めの一発は職員の拳でした。皆さん美味しそうに召し上がられていました。

夏の終わりにふさわしい楽しいひと時が送れました。



○ みのもり保育園児との交流会

7月15日、22日に、みのもり保育園の子供たちが遊びに来てくれました。

15日は年長組、22日は年中組がそれぞれ20数名。

各ユニットで元気なあいさつとお歌を披露してくれました。皆さんとても喜ばれ、中には涙を流して歌を聴いている方もいました。最後に「おじいちゃん、おばあちゃんと握手してあげてください」と先生の声かけに子供たちは積極的にご利用者と握手していたのが印象的でした。子供たちの握手に満面の笑顔で応えるご利用者、初めは緊張していた子供たちの顔もだんだん笑顔になって、とても楽しそうでした。帰る時には、「バイバイ」「じゃあね」と子供たちの言葉に再度涙していました。

ご利用者が見せた、職員には見せないような顔をくしゃくしゃにした笑顔がとても印象的でした。子供たちと接している時のあの笑顔をもっと見せてもらえるように、ご利用者と接していきたいと改めて感じました。みのもり保育園の子供たち、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。



園児たちとの楽しい交流のひとつ

生活相談員 海老原信彦

○ 珈琲セットを寄付して頂きました

このたび「味の素ゼネラルフーズ株式会社：AGF」様より、コーヒーセットの寄付を頂きました。

高原施設長の粋な計らいで、マザアス全職員にもれなくこのセットがプレゼントされました。思いがけない贈り物に職員一堂感謝でした。ちょっと重たかったけど(笑)



思いがけない贈り物に感謝

○ マザアス日野 納涼祭 [平成20年 8 月 2 日開催]

今年で10回目となりました納涼祭。テーマは「祭人、納涼祭」。^{まつりびと}ご利用者、職員が一緒になって祭りを楽しむという意味を込めてそれを目標に準備してきました。

今回の納涼祭では、ご利用者に祭りの雰囲気味わっていただく一環として1階の外にある模擬店へ各フロアのご利用者が降りて、お食事ができるような型を試みました。それに際し、模擬店でのお食事ができるような夕食をなくし、模擬店メニューにおいては全食形態に対応できるようにし、プログラムもご利用者が1階に降りてこられるような時間帯を作れるように作成。1階外に新しくステージを設け、「鳴子踊り」の「踊屋MIX」という新しい出し物ボランティア様をお招きし、祭り全体を盛り上げました。



デイサービススタッフのフラガール(2人はたぶん男性)



八王子工業高校の生徒による八工太鼓



みずず会による盆踊り



お囃子のみなさん

○ マザアス日野 大敬老会 [平成20年 9 月14日]

[生活介護課：森田智也]

今年、「大敬老会」と称し、お祝いの会や職員による歌のプレゼントなど盛り沢山の内容で行われました。お祝いの会では、笑い溢れる祝寿の紹介や、今年度、数えて100歳を迎える方への、東京都知事や内閣総理大臣からの賞状や贈り物のご紹介があるなど、とても華々しいものとなりました。職員による歌のプレゼントでは、我がフロアが誇る「清と紅白バンド」歌声と演奏がご利用者とご家族様を魅了し、アンコールまで飛び出すほどの盛り上がりを見せました。また、午後から地域のお祭の方々が、御神輿や山車を披露していただけるなど、ご利用者にとってもご家族様にとっても、1日を通して楽しんでいただけた敬老会になったと思います。

この度、ご多忙の中ご来所いただいたご家族様や多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



スタッフも紅白のユニフォーム



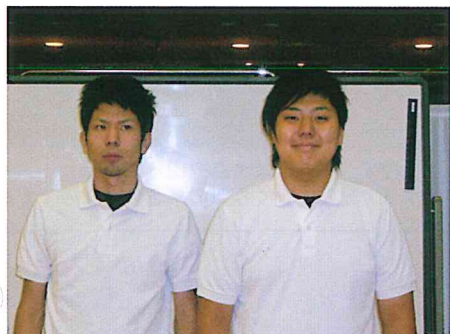
大敬老会に集まった皆様



今年最年長のご利用者

○ 介護予防教室：ガンバルーン体操 [平成20年9月4日～25日 毎週木曜日 開催]

在宅介護支援センターは、自宅近くの会場だからこそ参加できる高齢者を対象に介護予防教室を企画しています。今回、企画したガンバルーン体操は「笑い」と「体操」をテーマに、空気の抜けたボールを投げたり、押ししたり、つかんだりする体操です。若手お笑いコンビがインストラクターなので、息の合った楽しいトークに会場はいつも大爆笑です。また、後半で踊る「ソーラン節」は、座ったまま踊れるので評判になりました。会場いっぱい「どっこいしょ、どっこいしょ」「ソーラン、ソーラン」と大きな声が鳴り響き、毎回、20名以上の参加者が元気に踊っています。



2人のインストラクター



ソーラン節体操



バルーンを使った体操の様子

○ 小規模多機能ホーム「みなみだいら」オープン [平成20年9月1日開所]

小規模多機能ホームとは

平成18年4月に制度化された介護保険サービスです。25名の登録者に対して、「通い」「泊まり」「訪問」を行います。いずれのサービスも同施設の職員が対応します。また、泊まりの際も、日頃通っている施設内のお部屋を使用することから、環境の変化が少なく、認知症の方も落ち着いて過ごすことができると言われております。3人のご利用者に対して職員1名を配置するよう決められており、決め細やかな対応を行うことが可能です。予定外の宿泊や通い等、個人の状況に合わせて柔軟に対応できることも大きな特徴です。

小規模多機能ホームみなみだいらについて

① 通いの活動

一緒に食事を作ったり、洗濯物を干したり、散歩やドライブといった家庭的なことを主に行っております。来春は畑も作る予定です。買い物のご希望があれば、送迎の帰りにスーパーへ寄ることもあります。

② 訪問

掃除、服薬管理、受診の付添を行っております。

③ 時間

ご家庭が送迎できる方については、朝は8時頃からお受けし、夜は21時頃まで過ごして頂いております。

④ 宿泊

事前の予約がなくとも、当日急にお受けすることもあります。

*興味のある方はどうぞ一度気楽にお立ち寄りください。



楽しい団欒風景



明るく広いデイルーム

MAKING OF COVER 11月号表紙写真

どうでしょう。こうして
用者と職員が生活スベ
例えばデイサービスで
という目標を立てて、実
いる方、片手でご不自
る事に気がつきました。
できればと思っています。

写真にしてみるとなかなか良い貼り絵になっていると思いませんか、今までご利用者に居ながら、大きな作品作りに取り組んだことがなかったのですが、今年は、なわれているような作品作りを通して、ご利用者と深く関わりを持って行きたい行してみることにしました。始めてみると、意外にも、集中してはさみを使ってでも紙を貼ったり、または、指示を出して采配を振るう方など、分担ができていこれからも、さまざまな季節の作品と一緒に作っていくことで、良い時間を共有



■ 特別養護老人ホーム マザアス東久留米
TEL 042-477-7261 FAX 042-477-7500
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ デイサービスセンター マザアス氷川台
TEL 042-477-7263 FAX 042-477-7500
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ ヘルパーステーション マザアス氷川台
TEL 042-477-7260 FAX 042-477-0977
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ グループホーム ひかわだい
TEL 042-477-2150 FAX 042-477-2150
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ 居宅介護支援事業所 マザアス氷川台
TEL 042-470-1740 FAX 042-477-0977
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ デイサービスセンター マザアス大門
TEL 042-470-0065 FAX 042-470-8024
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■ 東久留米市東部地域包括支援センター
TEL 042-473-9996 FAX 042-470-8024
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■ グループホーム たきやま
TEL 042-477-1525 FAX 042-477-1525
〒203-0032 東久留米市前沢5-25-14

■ グループホーム おがわ
TEL 042-349-0160 FAX 042-349-0161
〒187-0032 小平市小川町1-113-8

■ 特別養護老人ホーム マザアス日野
TEL 042-582-1661 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ デイサービスセンター マザアス多摩川苑
TEL 042-582-1675 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ ヘルパーステーション マザアス多摩川苑
TEL 042-582-1673 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ 居宅介護支援事業所 多摩川苑
TEL 042-582-1672 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ 在宅介護支援センター 多摩川苑
TEL 042-582-1707 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ グループホーム たまだいら
TEL 042-589-3668 FAX 042-589-3669
〒190-0062 日野市多摩平2-13-14

■ 小規模多機能ホーム みなみだいら
TEL 042-594-5780 FAX 042-594-5781
〒191-0041 日野市南平3-10-2

新規開設



作業風景：1枚ずつ丁寧にはさみで切って(右)、
1枚ずつ念入りにノリで貼っていく根気の要る作業なのです。

おしらせ

■ 新理事長就任

10月20日に開催しました平成20年度第3回理事会において、マザアス東久留米 高原敏夫施設長が理事長に選任されました。

■ 法人ホームページ 一部リニューアル!!

9月12日に法人ホームページの一部リニューアルを行いました。東久留米・日野それぞれの事業所での日常の様子を今まで以上に伝えしていきたいと考えています。

アドレス：<http://www.moth.or.jp>

ひだまり No.50 EDITOR'S NOTES

編集後記

LEADER'S VOICE

振り返ればあつと言う間の1年間でした。
慢性メ切病に悩むのは広報委員だけではないと思いますが、広報はある種特殊な委員会ですから、創意工夫と感性の集大成の委員会とも言えます。時の記事をいかに公正かつ解かり易く写真を添えて載せるかという技術が求められます。
読者に「見てみたい、読んでみたい」という意欲をそそらなければ広報委員会としての機能は意味をなしません。この1年間、委員を通して多くの方々から原稿依頼をして参りました。校正が間に合わず、誤字脱字のまま印刷したり、写真のピントが合っていないかったり、色々と不手際の連続でしたが、皆様の惜しみない協力のおかげで委員会を継続させることができました。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。
今年度分は残すところ新年号と春号の2誌を残すだけとなりました。今後も委員会全員一丸となってご期待に沿うものを創って参りますので、皆様是非ご期待下さい。
(田嶋記)

STAFF

マザアス広報委員会

発行責任者	高原敏夫
編集責任者	田嶋精二
広報委員	山崎宣子 大川奉宏 名取良子 和久真弓 師岡美由紀

構成 田嶋精二

発行所 社会福祉法人マザアス
〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-5-7
tel: 042-477-7261 fax: 042-477-7500
ホームページ：<http://www.moth.or.jp>